

ドレンクリーナ

ドレンルータ *PH* 取り扱い説明書



はじめに・・

ドレンルーター PH 32～75mm (1・1/4" ～3") 排水管用

ご購入のドレンルーター (Drain-Rooter) PH は、長期間にわたって故障なくご活用戴けるように設計されています。しかし、機械は使用の方法によっては十分な性能を発揮できず、または故障や安全を損なう原因につながることにあります。

ドレンルーター (Drain-Rooter) PH を効果的に安全にご活用戴くためにも、**ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を注意してお読みいただきますようお願いいたします。**

取り扱い説明書にない操作や取り扱いによっては、作業者自身やその他の人身傷害、機械の故障などにいたる可能性があります。



目次

安全に確実にご使用いただくための注意事項	—— 作業現場は	————— 2
	電気的安全上は	
	作業者の安全上は	————— 3
	工具の使用、手入れ上は	
	メンテナンスは	————— 4
特記安全注意事項	—————	4
ケーブルの適用表 (表1)	—————	5
カッター・ヘッドの適用表 (表2)		
仕様表 (表3)		
1 各部の名称	—————	5
2 取り扱い手順	—————	6
3 ケーブルサイズの変更 — (ケーブルカートリッジの交換)	—————	8
4 給送ローラーの清掃又は交換	—————	10
5 トラブルシューティングガイド	—————	11
保守		

警告！

本説明書をすべて読んで理解してください。以下に挙げている説明事項にない操作を行った場合には、感電、火災や、または重大な人身傷害が発生する可能性があります。

以降の注意事項を必ず守ってください。

安全に確実にご使用頂くために

注意！

作業現場は

1. 作業現場は**整備**し、また十分に明るくしてください。
工具などが散乱してあったり、暗い場所で使用すると事故が発生します。
2. 引火性液体、ガスや埃のような爆発性環境の中では、**操作しない**でください。
スイッチのON／OFFやモーターから、埃や気体を発火させる可能性があります。
3. 装置を操作している間は、子供や操作に関係のない者を**近寄らせない**でください。
そのような状況下では中止してください。気をそらすと正常な操作ができず危険です。
4. 操作に関係ない者は工具や延長コードに**触らせない**ようにしてください。

＊ このように予防策を常にとってください。

そうすることにより、けがや事故の危険性を低くすることができます。

電気的安全上は

1. 装置は基準や条例に従って取り扱い、接地されたコンセントにさしこんでください。
どのような場合もプラグからピンを外したり、プラグを変更したりしないでください。
コンセントが適切に接地されているか疑わしい場合は、有資格電気技術者による確認をお願いします。
また、装置が電氣的な作動不良を起こしている時や、故障している場合には接地していても感電の可能性があるのですぐに点検修理を実施してください。
2. 二重絶縁工具には有極プラグ（片側ブレードはもう一方より広くなっている）が装備されています。
このプラグは、有極コンセントに一方向にのみしか差し込めません。プラグがコンセントに完全に入らない場合にはプラグを左右逆にしてみてください。それでもプラグが入らない場合は、有資格電気技術者による有極コンセントの取り付けを行ってください。
どのような場合でも、プラグを変更しないでください。二重絶縁になっているので三芯接地電源コードや接地電源装置は不要です。
3. パイプ、ラジエーター、レンジや冷蔵庫などの外面の金属に体が触れないようにしてください。
作業者の体がそのような金属に接触すると、感電の危険性が高くなります。
4. 装置に雨や水がかかり、湿った状態にならないようにします。
水分が装置内に浸入すると、漏電や感電の危険性が高くなります。
5. コードは使用目的以外には使用しないでください。
装置を運ぶためにコードを使ったり、コンセントから抜くために引っばったりしないでください。
コードは、熱、油、鋭利な角部、または可動物に近づけないでください。
損傷したコードは漏電や感電の危険があり、直ぐに交換してください。
6. 屋外で装置を操作する場合には、屋外専用の延長コードを使用してください。
これらのコードは屋外用の規格になっているので、漏電などの危険性が低くなります。

作業者の安全上は

1. 操作中には、操作していることに注意して、常識の範囲内で行動してください。
疲れていたりアルコールなどの影響を受けていたり、薬を服用している場合には操作をしないでください。操作中に注意力が弱くなると重大な人身傷害を引き起こす可能性があります。
2. 適切な衣服を着用してください。
だぶだぶの衣服や貴金属は着用しないようにしてください。髪が長い場合も注意してください。
髪、衣服や手袋は可動物に近づけないように注意してください。
衣服がだぶだぶであったり貴金属を身につけていたり髪が長いと、可動部に挟まれる場合や巻き込まれる可能性があります。
3. 突然に始動しないように注意してください。
コンセントに差し込む前には、必ずスイッチはOFFの状態にしてください。
また、移動の時はコンセントを抜くようにしてください。
運搬や移動の際に指などがスイッチに触れるとONの状態になる事があり、コンセントに差し込んだままの時やコンセントに差し込んだときに装置が動き出して危険です。
4. 装置に電源を入れる前には、点検や清掃などに使用した工具等を必ず取り外してください。
装置の回転部分にレンチやキーを取り付けた状態にしておくと人身傷害が発生します。
5. 手足を無理に伸ばしたままの姿勢で操作しないようにします。
常に、適切で無理のない姿勢を保ってください。そうすることによって不意な状況が発生しても装置をコントロールすることができます。
7. 安全器具や保護メガネを着用してください。
防塵マスクや滑り止め安全靴、安全帽や熱保護装置を使って、適切な状態で作業を行ってください。

工具の使用と手入れ上は

1. クランプや実用的な方法を使って、ワークピースを安定した台に固定し保持します。
ワークを手や体で保持すると、不安定になり扱い難しくなります。
2. 工具に負担をかけないようにします。使用時には適切なオプションを使用してください。
適切なオプションの使用により安全に作業を実施することができます。
3. スイッチで電源をON／OFFできない場合には、本機は使用しないでください。
スイッチで制御できない時は危険ですので、修理する必要があります。
4. 調整、アクセサリーの交換、工具の補修時には、プラグを電源から抜いておいてください。
このような安全策をとっておくと、装置が突然始動するような危険性がなくなります。
5. 装置を使用しないときは、子供や訓練を受けていない者の手が届かない場所に保管してください。
本機は、訓練を受けていない者が触ると危険です。
6. 装置は注意して管理してください。工具は作業後に洗浄して清潔に保管します。
洗浄などせず適切に保管されていないと、動作が固くなり取り扱いが困難になります。
7. 可動部分の調整不良や作動性、部品の破損、装置の作動に影響するその他の状態について確認してください。損傷している場合には、使用前に装置を修理してください。
不適切に管理されていると、大きな故障に至り事故が発生する可能性もあります。
7. お買い求めの型式に合った製造者推奨のアクセサリーのみをご使用ください。
ある機具には適切な工具でも、他の機具に使用すると危険な場合があります。

8. 装置と延長コードを点検し、損傷している場合には交換してください。
コードが損傷していると感電や、漏電による火災などの危険性が高くなります。
9. ハンドルは乾燥し、油やグリースが付着していない清潔な状態で保持してください。
こうしておく、装置は容易に扱えるようになります。
11. 乾燥した場所に装置を保管してください。良い保管状態にて漏電の危険性を避けてください。

メンテナンスは

1. 有資格修理作業者のみが装置のメンテナンス（保守整備・修理）を実施することができます。
無資格者がメンテナンスまたは分解などを実施すると、機械の故障や事故を発生させる危険があります。
2. 装置の修理を実施する場合には、同一の交換部品にて行ってください。
3. 本取り扱い説明書の保守項目の指示に従ってください。推奨していない部品を使用したり、保守時の指示に従わなかったりした時には、装置の故障や事故の発生する危険があります。

特記安全注意事項

1. 必ず本装置の電源は、適切に接地された有極コンセントに差し込んで接続してください。
疑わしい場合には、接続する前にコンセントを確認してください。
また電源コードに断線がないか、ほつれていないかを確認してください。
2. 電源コードの長さが不足する場合には、15メートル未満、最低1.2次の良好な状態の高負荷延長コードを使用してください。
軽負荷のコードを使用すると大きな電力損失が発生し、過熱する可能性があります。
3. 作業現場が湿っている場合には、ゴムブーツとゴム手袋を着用してください。
作業者は水中に立っている状態で装置を操作しないようにしてください。
4. 本機は、作業者が一人だけで操作できるように設計されています。
5. 装置を操作する場合には、保護眼鏡を着用してください。
6. 回転中にケーブルを扱う場合には皮手袋を必ず着用してください。布手袋は絶対使用しない。
7. 始動する前には溶剤を中性にするか、またはドレンから腐食ドレン洗浄剤を取り除いてください。
これらの薬品に触れると作業者が負傷したり、ケーブルが損傷する可能性があります。
8. 回転しているケーブルは、絶対に保持しないようにしてください。
手でケーブルを引き出したり、押し戻す時はモーターが停止している時だけです。
モーターが回転している場合には、必ずガイドホース周りを扱い、装置を制御しながら行います。
9. 本装置は、ガイドチューブがドレン開口部から15センチ以内で操作できるように置きます。
開口部に対してこの距離に置けない場合には、ケーブルが振れたりねじれたりするのを防止するために、金属製チューブ等にケーブルを通して行ってください。
10. 各作業を始める前にはケーブルを引き出して、収納容器内のケーブルが破損やねじがないか、また磨耗や折れがないかの確認を必ず行ってください。
傷んでいるケーブルは使用しないで、純正の GENERAL 交換ケーブルと交換してください。

表1：ケーブルの適用

ケーブルサイズ	パイプサイズ	代表的な適用例
(6. 3mm)	(32～50mm)	細い配管、タブやシャワードレン
7. 9mm	40～50mm	流し台、洗面器や小径のドレン
9. 5mm	50～75mm	排気筒や小径ドレン（根元部は除く）

表2：カッターの適用

7.9mm(9.5mm)・ケーブル	カッター	代表的な適用例
アローヘッド	AH	重切断とキサゲ仕上げに理想的
フレキシブル アローヘッド	FAH	アローヘッドより柔軟性がある。 細い配管では急激に曲げることができる。
ボーリングギムレット	BG	柔らかい物（紙屑・髪の毛等）を取り除く のに使用する。
ダウンヘッドボーリングきり	DHBG	曲管通化性がよくワイヤーを下方向に 導きます。
1・1/4”サイドカッター	1・1/4”SCB	グリスやヘドロの詰まりの中で、パイプにこ びりついた固形物を刮り落とします。

表3：仕様

項目 \ 型式 (名称)		DRAIN-ROOTER PH (ドレンルーターPH)
品 番		441020
寸 法 mm		385 (L) × 305 (W) × 318 (H)
本 体 重 量		13 kg
モーター	V / W	100 (V) / 250 (W) AC電源 50Hz / 60Hz
	回 転 数	0～400 rpm
標準ケーブルサイズ		φ7.9×15m
標準付属ヘッド(カッター)		アローヘッド・フレキシブルアローヘッド 1 1/4” サイドカッターブレード ボーリングギムレット・ダウンヘッドギムレット
付 属 品		ガイドホース
最大キャパ		φ7.9×15m(標準ケーブル) φ9.5×10.5m (opケーブル)

1, 各部の名称



2, 取り扱い手順

組立て

1. ガイドホースを取り付けるために、ケーブル端部から接続ネジを外します。
2. ケーブルを1.5メートル引き出します。
3. ガイドホースにケーブルを挿入して、右図の様に本体にセットします。
4. ガイドホースのつまみを引き上げ本体の固定穴に合わせます。
つまみが穴に合うとパチンと入り込みます。



給送加圧調整ノブを緩め、ケーブルを引き出す。



ガイドホースつまみ



固定穴は2カ所あり、どちらでもセットできます。

操作

1. ケーブル先端部に用途に応じたカッターもしくはヘッドを取り付けてください。
取り付けはガイドホースセット時に外したねじで行います。
ねじは十分に締めつけてください。
ねじの締め付けが弱いとドレン内でカッターやヘッドが外れたり、思わぬトラブルが起きる原因にもなります。



2. ガイドホースが右のようにドレン開口部の5cmから15cmにくるように装置を置きます。

注記：ガイドホースは極端に曲がったり、ねじれてないようにしてください。

この機械は横置き（標準的）にしても縦置きにしても使えるようになっています。



縦置きにした状態

3. ローラー加圧ノブを締めつけます。

特記：ケーブルサイズによりローラーの押し付け具合は異なり、目安は、ノブを締めていきローラーがケーブルを押しはじめてから0.5～1.5回転締めつけると良いでしょう。

最初は弱めから始めて調整して行くのもひとつの方法です。

*強く締めつけても給送スピードが早くなることはありません
給送ローラーやケーブルを痛めるだけですのでご注意ください。



ローラー加圧ノブ

ケーブルを前後に動かしながらノブを締めていくと押し始めがわかりやすい

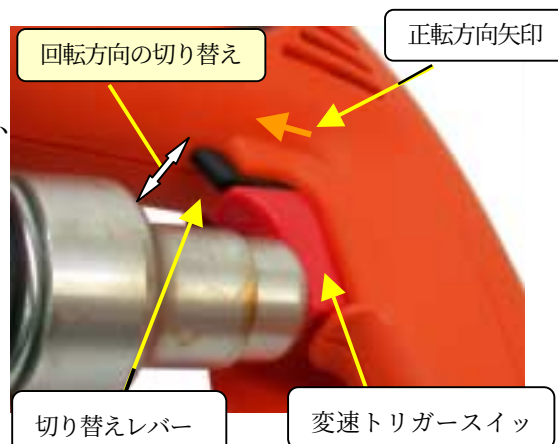
作業終了後は、ローラー加圧ノブはゆるめ、清掃・注油を行って保管してください。

4. 正転／Off／逆転スイッチは、必ず、正転位置に設定してください。

可変速度スイッチ

可変速度制御装置がトリガー機構に組込まれています。所望の速度が得られるまで、フットペダルに圧力をかけて、機械の回転をスローから増速することが可能です。

トリガースwitchの直ぐ上に配置されている正転逆転切り替えレバーで装置の回転方向も変えることができます。正転の回転は、レバーを前方向矢印の方に動かし、逆回転は、レバーを後ろ方向矢印へ動かします。



5. ケーブル先端部をドレン開口部に置いてください。

(操作手順2. と同じポジション) コンセントにプラグを入れて始動の開始。

6. 給送レバーにより供給量とケーブルの方向（前進：後退）を操作します。（モーターは正転で）

給送レバーを下方へ動かすとケーブルは押し出され、上方へ動かすとケーブルは引き戻され収納容器（ドラム）へ引き込まれます。レバーが中央の位置にあるときは、ケーブルはその位置で回転します。レバー操作はゆっくりと行います。ニュートラルからレバーを下げていく（上げていく）ほど給送速度は速くなります。



7. 給送レバーを前進位置にし、ガイドホースを片手で保持し、フットペダルをゆっくりと確実に踏み込んで、装置を始動させます。

ペダルを強く踏むほど、モーターは速く回転してケーブルは速く給送されます。



8. フットペダル（回転）と給送レバー（前進）の両方をコントロールし、抵抗に見合うように給送速度を調整します。

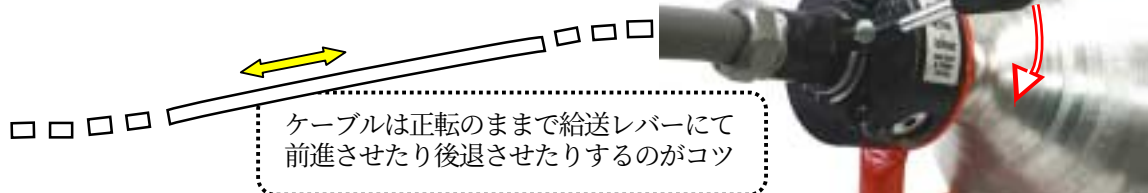
ケーブルに力がかからないようにしてください。ガイドホースとドレン間のケーブル量が多過ぎると、（ケーブル先端が前進する速度より早く給送すること）ケーブルが振れたり、ねじれたりします。

* ケーブルが曲がったりねじれだしたら、ペダルから足を離して一旦停止します。

正逆切替レバーを逆転にしてフットスイッチを軽く踏み込みながらドラムをゆっくり回転させます。ケーブルのねじれをとって余分なケーブルはドラムに押し戻し、**正転に切り替えて**作業を続けます。

注記：モーターの回転を逆転にすると、**給送レバー前進位置**でケーブルはドラムに引き込まれますが通常のケーブル収納ではドラムは正転で、**給送レバーにて収納**してください。

9. ケーブルをゆっくり進めて詰まり物に届いたときには、給送レバーの操作で繰り返し取り除き操作を行います。
ゆっくりした送り戻しの動きにより、ケーブルにかかる応力を極力抑え、安全で確実な清掃作業をおこないます。



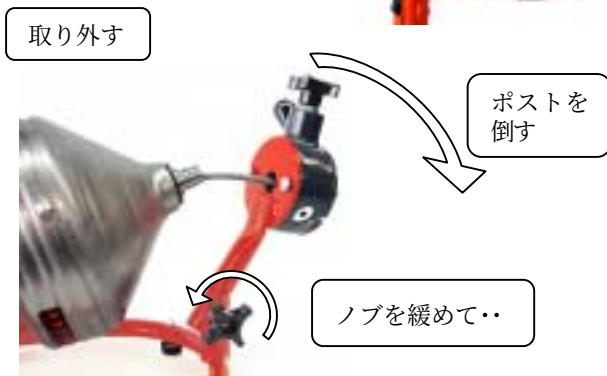
10. 詰まり物を取り除くと、給送レバーを後退位置（上側）に切り替えてケーブルを巻き戻します。モーターは正転の状態でケーブルを巻き戻します。この時も給送レバーとフットペダルで後退スピードや回転速度をコントロールしながらケーブルを回収してください。
ドラムを逆回転にしてケーブル回収を行うと、ケーブルを損傷する恐れもあります。 そのうえヘッド（カッター）等で巻き付けた詰まりものが外れてしまい取り出すことができません。
 ヒント：配管内に少量の水を流し作業すると詰まり物を取り出すのに有効な場合があります。

3. ケーブルサイズの変更（カートリッジの交換）

1. ケーブルにカッターや接続ネジが取り付けられている場合には、ネジとも取外します。



2. ローラ加圧ノブを緩めてローラーを開放しておきます。



3. 前部ポスト根元のノブを緩めて、クラッチ部支柱を前方向へ倒します。

4. ドラム外周にあるドラムの前後を止めている3個のネジを緩めます。機械からドラムの前部を手前に引くと内部にケーブル・カートリッジがあるのが分かります。

ねじを3個ゆるめる



5. ケーブルから前部ドラムをはずして、ケーブルをケーブル・カートリッジ内へ滑り込ませるようにしながら押し込みます。



6. ケーブル・カートリッジを取外します。

7. 交換カートリッジを確実にドラムの後部に押し込みます。必ず、カートリッジの溝をドラム後部のスリットに揃えてください。

8. ケーブルを、ドラムの前部、クラッチ部と順番に通していきます。



9. 前部ドラムのネジ穴を後部ドラムの穴に揃うようにしながら、前部ドラムを後部ドラムに押込んでネジ（3個）を確実に締付けます。



10. ローラ加圧ノブの押しつけ力を調整し、給送レバーをニュートラル位置にして交換完了。ガイドチューブをセットすれば作業準備ができました。



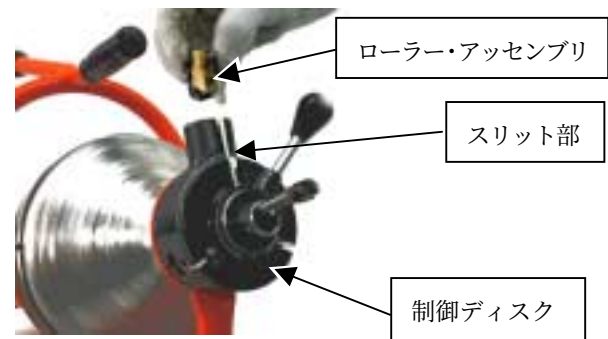
4, 給送コントローラー部の手入れ

1. ローラー加圧ノブとスプリングを取外します。

ローラー加圧ノブは、加圧調整時の、ゆるむ方向（左回し）に回してゆくと抜き取ることができます。



2. 上部ローラー・アセンブリをシリンダーから引き上げて出します。
必ず、制御ディスクがニュートラル位置にあり、スリットに合わせてスイング・ピンが上に滑り出せるようにしておいてください。



3. 下部シリンダー側は、スナップリングを外しスラスト・ワッシャを取外します。

スナップリング用プライヤは市販品を使用...



4. 下部ローラー・アセンブリを取り出します。
上部ローラーと同様に制御ディスクのスリットはスイング・ピンが滑り出せる位置にあるようにしておきます。

5. ローラー・アセンブリを清掃し逆の手順で組みつけてください。
必要に応じてローラー（ベアリング）交換をお勧めします。

組み終えた後はグリス等の油分を充分に行きわたらせておいてください。



5, トラブルシューティング

表3：トラブルシューティングガイド

問題点	考えられる原因	解決方法
ケーブルがねじれる。	ケーブルに力をかけ過ぎている。	・ケーブルに力をかけ過ぎない。 ・カッターヘッドが働くように、送りをコントロールする。
	機械とドレン開口部に緩みがあり過ぎる。	・機械とドレン開口部の緩みを15センチ以内にする。
	配管径とケーブルサイズが適合していない。	・ケーブル径が配管径に対して太いまたは細い。 (表1、ケーブルの適用を参照ください)
ケーブルの送り戻しができない。	ローラーが回転していないか、または磨耗している。	・回転を妨げる要因（ごみ等）を取り除いてください。 ・ローラーが磨耗し過ぎている場合は、ローラーを交換する
	ケーブル収納容器内でケーブルがねじれている。	・ケーブル収納容器からケーブルを引き出してよじれを取りのぞく。 ・よじれがひどい場合は、新しいケーブルに交換してください。
モーターが作動しない。	トリガーが中立位置（off）になっている。 電源が確保されていない。 コンセント or ブレーカ or コードの断線。	・切換スイッチを正転または逆転に切り替える。 ・電源を確保する。 交換、修理に出してください

6, 保守

ご購入戴いたパワーツールを良好にご使用いただくために、ベアリングとケーブルを使用毎に清潔にして保管し、**十分に油を潤滑**させておくことが大事です。

機械が砂、砂埃やその他磨耗物質と接触する場合には、可動部品への給油は特に重要となります。必要に応じて付着したゴミを取り除くと、**給送ローラーの寿命を伸ばす**ことができます。

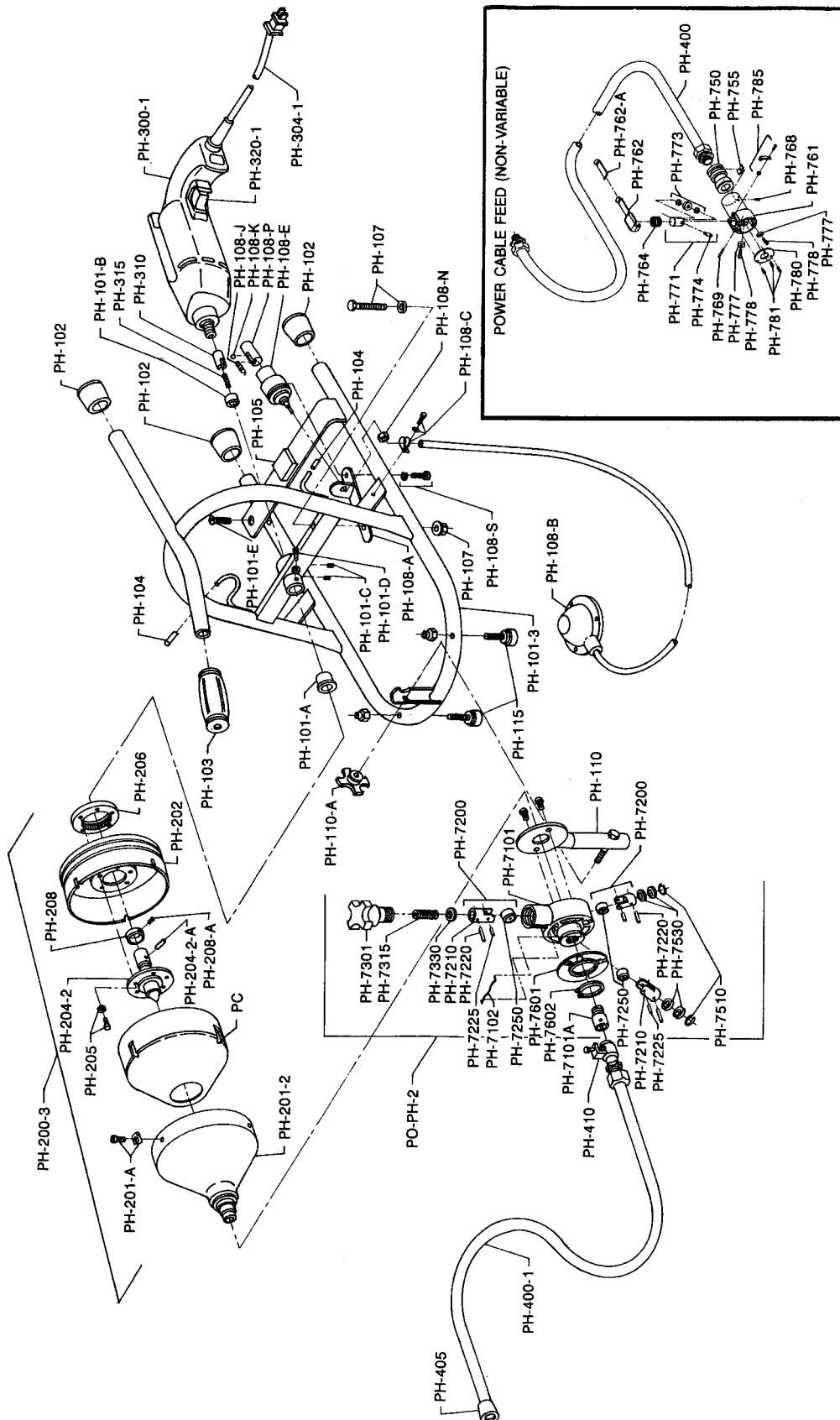
ローラーが自由に回転し、または適切に給送されることが重要です。また、ローラーの凝結にも**注意が必要**です。

ケーブルを最大限に活用するためには、**十分に注油**されていなければなりません。

定期的に、カートリッジ内に**直接注油**しているユーザーもいます。この場合には、ドラムを回転させるとケーブル全体に油が行きわたり潤滑されます。

ケーブルの潤滑だけでなく、ケーブルやドラム内を消毒し消臭しておくことも大切です。

ドレンルータ PH 分解図



General Drain-Rooter PH

ドレンルータ PH パーツリスト

図番 (メーカー品番)	部品番号	GW品名	部 品 名	数量
PH-101-3	DCB01	Frame only (for Variable Speed Feed)	フレームのみ	1
PH-101-A	DCB02	Front Bushing	フロントブッシング	1
PH-101-B	DCB03	Rear Bushing	リアブッシング	1
PH-101-C	DCB04	Bronze-tipped Set Screws (2)	青銅製位置決めネジ	2
PH-101-D	DCB05	Shaft Retaining Screw with Lock Washer	シャフト固定用ネジ	1
PH-101-E	DCB06	Motor Support Adjusting Screw	モータサポートネジ	1
PH-102	DCB07	Rubber Leg Tips (3)	ゴム足先	3
PH-103	DCB08	Grip Handle	グリップハンドル	1
PH-104	DCB09	Rubber Cord Wrap Tips (2)	ゴムコードチップ	2
PH-105	DCB10	Foam Pad	フォームパッド	1
PH-107	DCB11	Nut,Bolt & Washer for Actuator Bracket	アクチュエーターナット	1
PH-108-A	DCB12	Switch Actuator Bracket	SAブラケット	1
PH-108-B	DCB13	Foot Pedal and Hose	フットペダルとホース	1
PH-108-C	DCB14	Cable Tie	ホースクリップ	1
PH-108-E	DCB15	Switch Actuator and Cylinder	SA及びシリンダ	1
PH-108-J	DCB16	Spring	SAバネ	1
PH-108-K	DCB17	Ball	SAボール	1
PH-108-N	DCB18	Nut	SAナット	1
PH-108-P	DCB19	Piston	SAピストン	1
PH-108-S	DCB20	Screw and washer	SAボルトセット	1
PH-110	DCB21	Front Post	フロントポスト	1
PH-110-A	DCB22	Front Post Knob	フロントポストノブ	1
PH-115	DCB23	Rubber Feet,Bolts,and Locknuts(2)	ゴム足ボルトセット	2
PH-200-3	DCB24	Container Complete (Variable Speed Feed)	変速給送容器一式	1
PH-201-2	DCB25	Container Complete (No Front Post)	容器一式	1
PH-201-A	DCB26	Screws and Clips (3)	容器用ネジ及びクリップ	3
PH-202	DCB27	Container Back	容器バック	1
PH-204-2-A	DCB28	Roll Pin	ロールピン	1
PH-205	DCB29	Screws and Nuts for Hub (5)	ハブ用ネジ及びナット	5
PH-206	DCB30	Internal Ring Gear	内部リングギヤ	1
PH-208	DCB31	Collar	カラー	1
PH-208-A	DCB32	Set Screw	位置決めネジ	1
PH-300-1	DCB33	Skil Motor Assembly-Model #6355-GWS	モータモデル 6355	1
PH-304-1	DCB34	Power Cord for Skil Model #6355-GWS	モータ用電源コード	1
PH-310	DCB35	Drive Yoke	ドライブヨーク	1
PH-315	DCB36	Reverse Thread Screw	逆転ネジ	1
PH-320-1	DCB37	Trigger Switch for Skil #6355-GWS	トリガースイッチ	1
PH-400-1	DCB38	Guide Hose for Variable Speed Feed	変速給送用ホース	1
PH-405	DCB39	Rubber Tip	ラバーチップ	1
PH-410	DCB40	Spring Pin Connector Assembly	Sピンコネクタ組	1
PO-PH-2	DCB41	Variable Speed Cable Feed	変速ケーブルフィード	1
PH-7101	DCB42	Feed Body	給送部本体	1
PH-7101-A	DCB43	Spout	スパウト	1
PH-7102	DCB44	Lifting Spring	リフトスプリング	1
PH-7200	DCB45	Feed Roller Assembly	給送ローラアセンブリ	1
PH-7210	DCB46	Carrier Only	キャリア	1
PH-7220	DCB47	Swing Pin	スイングピン	1
PH-7225	DCB48	Roller shaft	ローラシャフト	1
PH-7250	DCB49	Feed Roller	給送ローラ	1
PH-7301	DCB50	Feed Pressure Knob Assembly	給送加圧アセンブリ	1
PH-7315	DCB51	Pressure Spring	押さえバネ	1
PH-7330	DCB52	Thrust washer	スラストワッシャ	1
PH-7510	DCB53	Bottom Assembly Snap Ring	底部スナップリング組	1
PH-7530	DCB54	Bottom Assembly Thrust Washers (2)	底部スラストワッシャ組	2
PH-7601	DCB55	Feed Control Disc with Lever & Knob	給送制御ディスク	1
PH-7602	DCB56	Control Disc Retaining Snap Ring	制御ディスク用リング	1
PC	DCB57 (441271)	Plastic Cartridge	プラスチックカートリッジ	1



輸入販売元 **レッキス工業株式会社**

東京支店	〒177-0032	東京都練馬区谷原5-13-30	Tel 03-5393-6011
大阪支店	〒578-0948	大阪府東大阪市葦屋東1-9-3	Tel 072-965-9811
札幌営業所	〒006-0832	北海道札幌市手稲区南2条4-3-31	Tel 011-882-3711
仙台営業所	〒984-8651	宮城県仙台市若林区卸町3-1-13	Tel 022-232-1697
東京営業所	〒177-0032	東京都練馬区谷原5-13-30	Tel 03-5393-6011
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元郷社町932-8	Tel 027-253-8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150-1	Tel 046-245-3981
名古屋営業所	〒454-0806	愛知県名古屋市中川区湊池町9-3	Tel 052-351-1551
大阪営業所	〒578-0948	大阪府東大阪市葦屋東1-9-3	Tel 072-965-9811
高松営業所	〒760-0072	香川県高松市花園町3-7-22	Tel 087-834-3982
広島営業所	〒734-0022	広島県広島市南区東雲2-15-11	Tel 082-284-8085
九州営業所	〒812-0882	福岡県福岡市博多区夏野3-18-26	Tel 092-583-1110
本社	〒542-0086	大阪府大阪市中央区西心斎橋1-4-5	
工場	〒578-0948	大阪府東大阪市葦屋東1-9-3	

お客様相談窓口

 **0120-475-476**
受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

■商品の仕様は予告なく変更することがあります。

000000-J0

000000003